

平成24年度

”宗谷シーニックバイウェイ”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生	報告年月日: 2013/3/31
---------------------	------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	景観趣向に応じたビューポイントの発掘及びマップの作成	—	—	—	—	—	—	自分達の住んでいる地域を美しくすることで来訪者に対する”おもてなし”の心を表現する活動として清掃・植栽活動を行っている。 また捨てられている流木を利用したプランターづくり(※今年度は事情が有り未実施)、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントも行っている。 更に『宗谷らしい道路景観』を念頭に道路付属物の景観向上策などについて検討会を開催し意識醸成した。 今後、清掃・植栽活動については団体同士で連携を取り地域全体で取り組めるような体制づくりを目指したい。
		景観のための地場産業との連携	—	—	—	—	—	—	
		環境保全を兼ねた清掃活動	1	クリーンキャンペーン リシリ	利尻町建設協会・運輸協会 利尻トラック部会 【協力協賛】利尻町観光協会	平成24年5月12日	主催者 約 80名 一般参加 約 20名	SY- 3	
	魅せるための景観形成	春・夏・秋の季節に応じた植樹活動	2	稚内空港線植樹帯維持活動	フラワーマスター稚内	平成24年6月10日	主催者 約 20名 一般参加 約 130名	SY- 7	
		アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩り	3	彩北わっキャナイト2013	稚内みなとまちづくり懇談会	平成25年2月9日	準備(主催者約15名、他協力約55名) 来場者(一般参加800名)	SY- 14	
		流木を活用したプランター作り	—	—	—	—	—	—	
	より良い景観整備を目指す	商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り	4	宗谷らしい道路景観の検討	宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部	平成24年10月24日(現地検証) 平成25年1月28日(意見交換)	一般参加 10名(現地検証)7名(意見交換)	SY- 12	
		地元人としての『慣れ』から脱却し、宗谷を再認識するための勉強会の開催	—	—	—	—	—	—	
		地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成	—	—	—	—	—	—	
環境	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	宗谷シーニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案	—	—	—	—	—	—	海岸清掃については平成17年より継続的に実施し、参加者数の規模も年々増えている。 また「環境都市わっかない」を標榜している中で、環境エネルギー活用 of PR事業としてEV車による日本縦断を行った。 今後も、離島の外来種混入防止やCO2削減(カーボンオフセット)やなど環境配慮の社会情勢に連動した活動メニューを継続的に実施していく必要がある。
		観光客への啓発活動	5	礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	平成24年度内	—	SY- 1	
	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	環境保全のためのルール作り	—	—	—	—	—	—	
		CO2削減のための植林及び植栽活動	—	—	—	—	—	—	
		フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施	—	—	—	—	—	—	
		環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	6	彩りプロジェクト2012	稚内みなとまちづくり懇談会	平成24年6月3日	主催者 約 10名 一般参加 約 410名	SY- 6	
		道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案	—	—	—	—	—	—	
	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	7	環境都市PR(EV車日本縦断)事業	稚内青年会議所、未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会、稚内市、稚内観光協会	平成24年8月17日～9月7日	主催者 約 80名	SY- 8	
		地域の将来を担う子供たちへの教育活動	—	—	—	—	—	—	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生	報告年月日: 2013/3/31
---------------------	------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	—	—	—	—	—	—	例年実施していたエリア内の観光情報について、今年度は事情により実施できなかった。 今後、地域内での連携事業をより密にしていけるためには、各々の活動団体が自主的に情報発信していく必要があるのと、それらを効率良くまとめた確に発信していく地域全体の情報管理体制を構築していくことが必要と考える。	
		情報ボランティア等人材の発掘及び育成	—	—	—	—	—	—		
	広報戦略としての宗谷シーニックバイウェイデザインの統一	宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	H18完了							
		ルート及び情報発信場所における看板等の設置	—	—	—	—	—	—		
	既往の情報発信ツールを活用したオンリーワンな情報発信	既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信	—	—	—	—	—	—		
		分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	—	—	—	—	—	—		
		オンリーワンな情報発信内容・方法の提案	—	—	—	—	—	—		
		情報収集方法の確立に向けたルールづくり	—	—	—	—	—	—		
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備	—	—	—	—	—	—	継続的に行われているイベントは好評を得ているが、季節ごと、自治体ごとそれぞれ実施されている。 これらは活動団体同士の連携により行われているものもあり、更に広がりを求めていくべきものとする。 今後、国内外問わず対外的にPRしていく必要があるものとする。	
		「歩いて逢う」をテーマとしたフットパス等の参加型・体験型メニューづくり	8	最北フラワーマラソン大会	最北フラワーマラソン大会実行委員会【協力協賛】礼文島観光協会、宗谷シーニックバイウェイ	平成24年6月2日	主催者 167名 一般参加 31名	SY- 5		
		稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール	3	彩北わっキャナイト2013	稚内みなとまちづくり懇談会	平成25年2月9日	準備(主催者約15名、他協力約55名) 来場者(一般参加800名)	SY- 14		
		景観趣向に応じたビューポイントマップの作成	—	—	—	—	—	—		
		ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定	9	新観光資源開発(パワースポット)	稚内観光協会青年部、稚内・利尻町・利尻富士町・礼文島各観光協会	平成24年6月～	主催者 11名 (専門家1名、他10名)	SY- 4		
		三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備	—	—	—	—	—	—		
		利尻島の桜等の植栽活動	—	—	—	—	—	—		
		景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	6	彩りプロジェクト2012	稚内みなとまちづくり懇談会	平成24年6月3日	主催者 約 10名 一般参加 約 410名	SY- 6		
	『種』から育てる新たな観光の創出	大牧草地を活用したパークゴルフ等のグリーンツーリズムの実施	—	—	—	—	—	—		
		物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	10	てっぺん鍋マルシェ 日本海VSオホーツク海グルメバトル	北防波堤グルメまつり実行委員会【主管共催】稚内観光協会、同青年部、稚内商工会議所女性会、他	平成24年9月22日～23日	主催者 約 50名 一般参加 約 5,850名	SY- 11		
			11	新観光資源開発(映画のロケ地)	稚内商工会議所、稚内観光協会、利尻町・利尻富士町・礼文町 各商工会及び観光協会)	平成24年8月～平成25年2月	主催者 25名	SY- 10		
		外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	—	—	—	—	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生						報告年月日:2013/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
	シーニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施	12	新観光資源開発(着地型プログラム)	北宗谷広域観光推進協議会 (稚内・利尻町・利尻富士町・礼文島・猿払 各観光協会)	平成24年度内	主催者 40名	SY- 2	
		シーニックバイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催	—	—	—	—	—	—	
		地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	—	—	—	—	—	—	
	観光振興・地域づくりイベント		13	2012WAKKANAIみなとコンサート	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成24年8月19日	主催者 約 50名 一般参加 約 3,450名	SY- 9	
			14	ポニーを走らす会	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成25年2月2日	主催者 約 30名 一般参加 約 270名	SY- 13	

礼文島リボンプロジェクト

【概要】 宗谷シーニックバイウェイの一員としての行政が、地域の「暮らしや産業」とマッチングが良く、何より持続可能な取り組みとしての「礼文島リボンプロジェクト」を企画し実行した。取り組みは、バッジ購入という単純なアクションを通じて、誰もが参加できる内容とし、平成23（2011）年度は 約 340万円、平成24（2012）年度は 約 485万円の支援を得た。内容は礼文町のHPで公開している（www.town.rebun.hokkaido.jp/ribon）。「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2011」ルート審査委員特別賞受賞

【日時】 平成24年度内
【場所】 礼文島内
【主催】 礼文町観光協会



ルールブックのピンとしての活用を予定



個人・団体での参加

新観光資源開発（着地型プログラム）

- 【概要】 着地型観光のメニューづくりとして、ANA総合研究所と各観光協会で連携して体験メニュー作りを実施。ワークショップを通じて地域の方々にご参加戴き、滞在日数の延長やより一層地域を知っていただくプログラム開発として取組んでいる。
- 【日時】 平成24年度内
- 【場所】 稚内市・利尻島・礼文島・猿払村
- 【主催】 稚内観光協会・利尻町観光協会・利尻富士町観光協会・礼文町観光協会・猿払村観光協会（北宗谷広域観光推進協議会）
- 【参加人数】 40名



クリーンキャンペーン りしり

- 【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。
- 【日時】 平成24年5月12日（土）
- 【場所】 利尻町内一円
- 【主催】 利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会
- 【協力協賛】 利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所
- 【参加人数】 約 100名（主催者側 約 80名、一般参加 約 20名）



新観光資源開発（パワースポット）

- 【概要】 利尻・礼文・稚内において、20～30代の女性をターゲットにした観光資源開発のひとつとして風水におけるパワースポットを調査して宗谷シーニックバイウェイ内の新しい観光スポットとして発掘・広報。
- 【日時】 <準備> 平成22年・平成23年 <広報> 平成24年6月～
- 【場所】 稚内市・利尻島・礼文島
- 【主催】 稚内観光協会青年部・稚内観光協会・利尻町観光協会・利尻富士町観光協会・礼文町観光協会
- 【参加人数】 風水師 1人、調査・資料づくり 10名



最北フラワーマラソン大会

- 【概要】 礼文町観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。
翌日の利尻島一周マラソン（利尻島悠遊賢人G ※ ゆうゆうらんになぐ）とも連携して実施している。
- 【日時】 平成24年6月2日（土）
- 【場所】 礼文島内
- 【主催】 最北フラワーマラソン大会実行委員会
- 【協力協賛】 礼文町観光協会・宗谷シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 198名（主催者側 167名（町民）、一般参加 31名（町外参加））



地域イベントとの連携

- 【概要】 坂の下海岸を清掃。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年も稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めたが流木プランターの制作は日程の調整がつかず中止とした。
- 【日時】 平成24年6月3日（日）海岸清掃と流木集め、
- 【場所】 （海岸清掃と流木集め）坂の下海岸
（流木プランター制作）本年度は中止
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民。
- 【参加人数】 海岸清掃...他 約 420名



稚内空港線植樹帯維持活動

- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。昨年から植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いしたが、参加団体は昨年10団体に対し本年は18団体に増加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。
- 【日時】 平成24年6月10日（土）
- 【場所】 道道稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、みなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか
- 【参加人数】 約 150名（主催者側 約 20名、一般参加 約 130名）



【概要】日本最北端の稚内市は、再生エネルギーの街として風力発電・メガソーラー発電の街として、平成24年には環境都市宣言をしています。利尻礼文サロベツ国立公園を有する最北エリアは、自然環境に恵まれ、その環境に優しいエネルギーの街としてPRするために、電気自動車で日本縦断を果たしました。

【日時】平成24年8月17日～9月7日

【場所】枕崎市～稚内市

【主催】稚内青年会議所・未来のくらしと宗谷路（ネットワーク）を考える会・稚内市・稚内観光協会

【参加人数】80名



8月17日（金）	枕崎市～熊本市	224km
8月18日（土）	熊本市～福岡市	113km
8月19日（日）	福岡市～山口市	150km
8月20日（月）	山口市～広島市	139km
8月21日（火）	広島市～松山市	186km
8月22日（水）	松山市～高知市	119km
8月23日（木）	高知市～徳島市	157km
8月24日（金）	徳島市～大阪市	148km
8月25日（土）	大阪市～津市	114km
8月26日（日）	津市～名古屋市	76km
8月27日（月）	名古屋市～静岡市	184km
8月28日（火）	静岡市～東京都	177km
8月29日（水）	東京都～太田市	82km
8月30日（木）	太田市～会津若松市	199km
8月31日（金）	会津若松市～新潟市	115km
9月1日（土）	新潟市～にかほ市	207km
9月2日（日）	にかほ市～秋田市	68km
9月3日（月）	秋田市～青森市	197km
9月4日（火）	青森市～函館市	119km
9月5日（水）	函館市～札幌市	254km
9月6日（木）	札幌市～旭川市	134km
9月7日（金）	旭川市～稚内市	247km



2012 WAKKANAI みなとコンサート

【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。

【日時】 平成24年8月19日（日）11:00～16:00

【場所】 稚内港北防波堤ドーム

【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク

【共催】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー

【後援】 宗谷地区港湾工事安全連絡協議会

【協賛】 NPO法人北海道みなとの文化振興機構、社団法人寒地港湾技術センター、他

【参加人数】 約 3,500名（主催者側 約 50名、一般参加 約 3,450名）（※他のイベント等からの流れもあり）



新観光資源開発（映画のロケ地）

- 【概要】 映画「北のカナリアたち」のロケ地となった利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町・稚内市において、新しい観光資源としてロケ地跡や縁の地をベースに商業界と連携を図り宗谷シーニックバイウェイ内の新しい観光へにお取り組みとして調査・研究。
- 【日時】 平成24年8月～平成25年2月
- 【場所】 稚内市・利尻島・礼文島・豊富町
- 【主催】 稚内商工会議所、稚内観光協会、利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町 各観光協会および商工会
- 【参加人数】 25名



日本海VSオホーツク海グルメバトル2012 ～Sea級グルメグランプリ～

- 【概要】 日本最北端の稚内市宗谷岬は、宗谷海峡を境とする日本海とオホーツク海に面する海産物の宝庫。この二大海の新鮮な海の幸を食材としたSea級グルメグランプリを開催。来場者は各Sea級グルメを食べ、最もオリジナリティに優れたグルメを1品選びグランプリを決定。同時に大鍋販売を実施
- 【日時】 平成24年9月22日（土）・23日（日）
- 【場所】 JR稚内駅前広場
- 【主催】 北防波堤グルメまつり実行委員会
- 【主管・共催】 稚内観光協会・稚内観光協会青年部・稚内商工会議所女性会・稚内信用金庫・稚内中央商店街振興組合
- 【参加人数】 約 5,900名（2日間の合計来場者数）
～内、主催者側延べ 50名、一般参加延べ 約 5,850名



宗谷らしい道路景観の検討

- 【概要】 宗谷らしい道路景観形成について、景観に配慮した道路附属施設の整備・改善策の策定のために住民参加による現地検証（景観診断）をし、更に「宗谷らしい道路景観」を考えるため、管内を走行するドライバーの方々に快適で“再び訪れたい”気分させるドライブ環境整備に向けた意見交換を実施した。
- 【日時】 （現地検証）平成24年10月24日（水） 13:00～17:00
（意見交換）平成25年1月28日（月） 13:30～15:30
- 【場所】 （現地検証）国道40号、及び238号 沿道
（意見交換）稚内合同庁舎 3階会議室
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部
- 【参加人数】 （現地検証）10名（一般参加）／（意見交換）7名（一般参加）



現地検証の様子



意見交換の様子



ポニーを走らす会

- 【概要】 冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験（主にちびっ子相手）を楽しんで貰う。
- 【日時】 平成25年2月2日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約300名（主催者側約30名、一般参加約270名）



- 【概要】 稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。
今年で10年の節目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、稚内青年会議所主催の「みなみなまつり」との同一会場での連携開催となり、来場者数も年々増加。連携7年目を向え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時開催するなど、各々で特色を持ち始めた。
- 【日時】 平成25年2月9日（土） 13:00～21:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、など
- 【参加人数】 準備約70名（主催者側約15名、他協力約55名）、来場者約800名（一般参加）



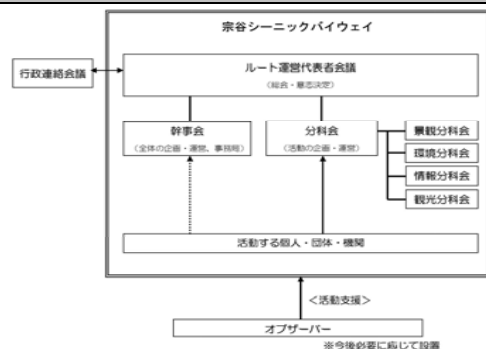
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 宗谷シーニックパイウェイ	報告者: 宗谷シーニックパイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月: 2013/3/31
---------------------	---------------------------	-----------------

活動団体

NPO法人映像コミュニティ・ムーブ／猿払イトウの会／宗谷建設青年会／未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会／利尻島を考える会／利尻富士町宿泊業組合／稚内観光協会青年部／稚内商工会議所／稚内青年会議所／稚内のみなとを考える女性ネットワーク／稚内ホテル旅館業組合／稚内みなとまちづくり懇談会／フラワーマスター稚内／稚内市歴史・まち研究会／稚内観光協会／豊富町観光協会／猿払村観光協会／利尻富士町観光協会／利尻町観光協会／礼文島観光協会／宗谷バス株式会社／ハートランドフェリー株式会社
(計22団体)

ルート運営体制(活動団体)

[illegible]

ルート名称: 宗谷シーニックパイウェイ	報告者: 稚内開発建設部	報告年月: 2013/3/31
---------------------	--------------	-----------------

[illegible]

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ		報告者: 稚内開発建設部		報告年月: 2013/3/31			
ルート(エリア)運営活動計画方針		平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	魅せるための景観形成	稚内空港線植樹帯維持活動	平成24年6月10日	(協力協賛)宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、みなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか	稚内空港線(稚内空港前)の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。昨年から植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いしたが、参加団体は昨年10団体にに対し本年は18団体に増加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。	魅せるための景観形成活動として清掃・植栽活動、また流木を利用したプランターづくり(※今年度は事情が有り未実施)、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントに協賛している。 今後、地域全体で連携し取り組んでいく体制づくりを目指したい。	SY-7
		彩北わっキャナイト2013	平成25年2月9日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、など	稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年で10年の節目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、稚内青年会議所主催の「みなみなまつり」との同一会場での連携開催となり、来場者数も年々増加。連携7年目を向え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時開催するなど、各々で特色を持ち始めた。		SY-14
		宗谷らしい道路景観の検討	平成24年10月24日(現地検証) 平成25年1月28日(意見交換)	稚内開発建設部、宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会	宗谷らしい道路景観形成について、景観に配慮した道路附属施設の整備・改善策の策定のために住民参加による現地検証(景観診断)をし、更に「宗谷らしい道路景観」を考えるため、管内を走行するドライバーの方々に快適で“再び訪れたい”気分させるドライブ環境整備に向けた意見交換を実施した。		SY-12
環境	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	彩りプロジェクト2012	平成24年6月3日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民	坂の下海岸を清掃。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年も稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めたが流木プランターの制作は日程の調整がつかず中止とした。	環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動を実施している。これらと連携し支援していける体制づくりを目指したい。	SY-6
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	彩北わっキャナイト2013	平成25年2月9日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、など	稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年で10年の節目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、稚内青年会議所主催の「みなみなまつり」との同一会場での連携開催となり、来場者数も年々増加。連携7年目を向え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時開催するなど、各々で特色を持ち始めた。	継続的に行われているイベントが好評で、引き続き実施されている。	SY-14
		彩りプロジェクト2012	平成24年6月3日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民	坂の下海岸を清掃。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年も稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めたが流木プランターの制作は日程の調整がつかず中止とした。		SY-4
	観光振興・地域づくりイベント	2012WAKKANAIみなとコンサート	平成24年8月19日	(共催)稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー	稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。稚内開発建設部においては、開催に併せて「みなとパネル展」を行った。	今後、国内外問わず対外的にPRしていく必要があるものと考えられ、これらと連携し取り組んでいく体制づくりを目指したい。	SY-9
		ポニーを走らす会	平成25年2月2日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他	冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験(主にちびっ子相手)を楽しんで貰う。		SY-13

5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ 代表 岩間 幹生	報告年月:2013/3/31
--------------------	---------------------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれたい。	今年度の取組みの中では新たに、新観光資源開発(着地型プログラム、パワースポット、映画ロケ地)の取組み(観光系)がなされ、次年度以降ではそれらを地域内でどう活用していくのか、など運用実務に関する活動が求められてくる。 また礼文島プロジェクトや環境都市PR(EV車日本縦断)事業(環境系)、継続的に実施されている清掃活動各種や宗谷らしい道路景観形成を検討する意見交換会の開催(景観系)などにより環境保全に関する意識が高く、今後も更なる活動の展開が期待されている。 また環境エネルギー・先進地としての地域資源を地域観光案内に取り入れた「環境と観光のガイド」などに関する人材などについて育成の充実が求められてくる。	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2013/3/31
--------------------	-------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれたい。	官民協働での花植え活動や宗谷らしい道路景観形成検討など実施している中、実施体制として現状維持しつつも、継続的な人員確保という点については、会議をはじめメーリングリストやニュースレター、各自治体の広報誌なども活用し、個別具体的な情報までを密に提供できる体制を考える必要がある。 これら地域連携に対し、双方を効果的に運用できる調整役の人材育成の充実が求められてくる。	